

温泉街の夜 食べて語って

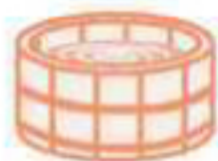
北陸新幹線の県内開業が来年3月16日に決まりました。あわら温泉も旅館も着々と準備中です。今回は温泉街に泊まった夜の過ごし方について、私のお薦めを紹介したいと思います。

各旅館、ホテルの夕食も楽しみですが、夕食後の夜食もいいですよ。ラーメンやギョーザに、冷やしうどん。そして、冷えた瓶ビールを小さなグラスに注ぎ、グイッと飲む。もう最高！

若旦那の一押しは、温泉街の中央に位置する「あわら温泉屋台村 湯けむり横丁」。えちぜん鉄道あわら湯のまち駅のロータリーのすぐ前です。結婚前は週4回は通ってました。

今は7店が軒を連ねます。串揚げに牛ホルモン焼き、手

お薦めの過ごし方



羽先、おでん、ラーメンなど、すべて違うジャンル。店の中はカウンター席で、店主や地元の方との語りを楽しみつつ、できたての本格的な料理を食べることが出来ます。ですから、住民との交流を求めて訪れる旅行者も多く、旅館に宿泊中と思われる浴衣姿の方もちらほら。自分の好きな店から入り、何軒もはしごするのが「屋台村スタイル」です。屋台村を楽しみに来られる方は、1泊朝食のみご提供というスタイルもありますよ。

隣にある足湯は北陸最大級。午後11時まで営業していて、屋台村に足を運んだら、ここで休憩するのがお薦めです。さらにさらに、足湯の後ろには「あわらミュージック」

こと、ストリップ劇場があります。半世紀の歴史があり、「伝統芸能」と言っても過言ではないでしょう。この「屋台村」「足湯」「あわらミュージック」でも十分ですが、あわらの夜はまだ終わりません。旅館「べにや」と「つるや」の間にある、温泉街のメインストリート「湯くわくDori」をご存じですか。石畳風に整備され、夜には行灯がともされて温泉情緒たっぷりですよ。

その通りであって、私がよく伺うのが「桂馬」です。ご夫婦で長年営んできたお店はアットホームな雰囲気でお料理も愛情いっぱい。無茶苦茶うまい！何を頼んでもおいしいですが、私のパターンは瓶ビール、冷やっこ、鶏皮ポン酢にハムエッグ。締め

は冷やしうどん大盛り、わさび多めです。

さらに「割烹 活」スナック「向日葵」、居酒屋だと「まっぼっくり」に「すみれ」「ひーちゃん」があります。どのお店も個性があっとうまい。メニューだけでなく、空気感も最高にいいんです。ぜひ浴衣で歩き、お楽しみください。メイン通り以外にも、変わりがギョーザが絶品の「楊々餃子」、焼き肉店「イロトリ鶏」は実はラーメンもうまい。まだまだ、終わりませんよ。屋台村の東側には、おでん鉄板焼きの「案山子」があります。だし巻きやミックスお好み焼きがお薦め。そのお隣の焼き肉店「味園」が、秘伝のたれとお肉のコラボがたまりません。

前述しました、私がよく行くお店はごくごく一部。温泉街には、魅力的なお店が紹介しきれないぐらいあります。すべて確認するにはネットで「あわら温泉MAP」と検索を。旅館での温泉と夕食の後には、浴衣で温泉街を散策くださいね。

そのためには、チェックイン前には県内の観光地を歩き、チェックイン後には、サウナや温泉で汗をかいておなかを減らしてください。そして旅館の夕食もしっかり楽しんでほしいですが、お米は少なめに。夕食開始は早めにするのも、温泉街の夜の探検を満喫するコツでしょうか。

さあいくぞ！ あわら温泉は、旅館は、今から無茶苦茶おもしろい。

あわら温泉は 無茶苦茶 おもしろい！

さあ
いくぞ！

グランディア芳泉
山口高澄 常務



個性あふれる店が軒を連ねる「あわら温泉屋台村 湯けむり横丁」。店主や常連客との会話も「ちそう」だ。あわら市温泉1で